

(様式 1-3)

福島県(川俣町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	30	事業名	山木屋幼稚園 屋外教育環境整備事業		事業番号	(1)-15-9
交付団体		川俣町	事業実施主体(直接/間接)		川俣町(直接)	
総交付対象事業費		4,320(千円)	全体事業費		25,898(千円)	
帰還環境整備に関する目標						
原子力災害後、山木屋幼稚園は休園しているが、山木屋地区が平成 29 年 3 月 31 日避難指示解除し、それを踏まえて平成 30 年 4 月に山木屋幼稚園を再開することとしている。 平成 29 年度に園舎の大規模改造工事を実施するが、園庭の整備も実施し、山木屋幼稚園の園舎等を利用する子ども達が安心して幼稚園生活を送ることができる環境を確保する。						
事業概要						
被災し、長期間維持管理が停止していた山木屋幼稚園の園庭を整備する。 【川俣町復興計画(第2次)】P38 復興施策 5. 人々が、習い、学び、集う、文化的なまちへの復興 (1) 子どもたちの「学び」の支援 『未来を担う子どもたちが、東日本大震災の影響などに悩まされず、何の心配もなく「学ぶ」ことに専念できるよう、学校等の教育施設での徹底した放射線量の低減を図ります。さらに、被災した児童・生徒への適切な就学支援やきめ細やかな心のケアなどを推進し、教育環境の整備を図ります。』 (整備内容) 運動広場や築山等の整備、遊具の更新、既存プール等の撤去、砂場更新等 ① 山木屋幼稚園 屋外教育環境整備工事設計業務委託 4,320,000円 ② 山木屋幼稚園 屋外教育環境整備工事 21,578,400円 当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください						
当面の事業概要						
〈平成 29 年度〉 屋外教育環境整備に係る工事設計を行う。 〈平成 30 年度〉 屋外教育環境整備に係る工事を行う。						
地域の帰還環境整備との関係						
幼稚園の同一敷地内にある、山木屋小学校校舎を小・中一貫校として運営をするための整備を進めている。それに合わせて子ども達の安全・安心できる教育環境を確保し、子育て世代の帰還と定住促進を図る。						
関連する事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1 - 3)

福島県（川俣町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 7 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	31	事業名	山木屋幼稚園大規模改造（空調設備設置）事業	事業番号	(1)-15-10
交付団体		川俣町	事業実施主体（直接/間接）	川俣町（直接）	
総交付対象事業費		16,919（千円）	全体事業費	16,919（千円）	
帰還環境整備に関する目標					
平成 30 年 4 月に山木屋幼稚園を再開することを目標とし、帰還環境整備事業を活用して平成 29 年度内に工事を完了させ、山木屋幼稚園の園舎を利用する子ども達が安心して幼稚園生活を送ることができる環境を確保する。					
事業概要					
被災し、長期間維持管理が停止していた山木屋幼稚園の園舎について、老朽及び質的整備に関する大規模改造を実施し教育環境の整備を進めているが、空調設備等についても整備をする。 空調設備に係る暖房について、園児の利用が多い保育室等のFF式石油暖房機を更新する。エアコンのみの使用より園児の活動が促進されるとともに、今後の電気代等のコストを考慮し設置するものである。 また、空調設備設置に伴い、分電盤の回路等を増量する必要があるため分電盤を更新する。 山木屋幼稚園大規模改造（空調設備設置）工事 16,919,280円					
当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
＜平成 29 年度＞ 幼稚園大規模改造（空調設備設置）に係る工事を行う。					
地域の帰還環境整備との関係					
幼稚園の同一敷地内にある、山木屋小学校校舎を小・中一貫校として運営をするための整備を進めている。それに合わせて子ども達の安全・安心できる教育環境を確保し、子育て世代の帰還と定住促進を図る。					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

福島県（川俣町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成29年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	32	事業名	山木屋小学校体育館防災機能強化事業	事業番号	(1)-15-11
交付団体	川俣町		事業実施主体（直接/間接）	川俣町（直接）	
総交付対象事業費	32,717（千円）		全体事業費	32,717（千円）	
帰還環境整備に関する目標					
山木屋小中一貫校として学校を再開する。川俣町山木屋地区で学校再開に必要なインフラ整備を行い、帰還後の教育環境の整備を図るとともに、山木屋小学校体育館の避難所としての利用を考慮し、天井器具の落下防止対策を行い、避難所として安心して利用できるようにする。					
事業概要					
長期間の放置によって維持管理ができず体育館の機械設備や舞台設備が著しく劣化したため、現状のままでは、応急避難所として不安が残る。学校再開するにあたり、児童生徒及び地域住民等を事故等から防ぐために、体育館機械設備等の防災機能強化を行い教育環境の改善を図る。 （整備内容）バスケットゴールの改修、舞台パト用昇降装置改修 ・ 山木屋小学校体育館防災機能強化工事 32,717,520 円					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
＜平成29年度＞ 体育館防災機能強化工事を行う。					
地域の帰還環境整備との関係					
山木屋小中一貫校の整備と同時に防災機能強化事業を行い、子どもが安心して学校生活をおくれる環境を確保するために、帰還に必要なインフラ整備を行う。					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					